

市内の想定最大震度 震度6弱～震度7



危険な場所は、総合防災マップでご確認ください。危機管理課や市民課、各支所で配布しています。3カ国語にも対応しています。

情報を手に入れましょう

市公式LINE

市政情報のほかにも、災害発生時には、防災情報を発信します。事前に登録をお願いします。



▲登録はこちらから

 その他の関係機関



かがわ防災
Webポータル



通省 川の防災情報



気象庁
Meteorological Agency



特集

いつ起きてもおかしくない

南海トラフ大地震に備えて

▶問い合わせ 危機管理課 ☎ 73-3119



今年1月1日に発生した、能登半島地震の被害を受けた石川県輪島市内

危険性を知しましょう

今年1月1日に令和6年能登半島地震、4月17日には豊後水道を震源とする大きな地震が発生しました。

「南海トラフ大地震」は、今後30年以内の発生確率が70～80%とされています。改めて防災意識を高めましょう。

予想される被害は

南海トラフ大地震が発生した場合、市内では、震度6弱以上、一部地域では震度7の揺れが想定されています。

被害想定は、死者630人、負傷者2,400人、全倒壊数6,500棟とされています。

津波による浸水

最大4メートル未満の津波が想定されています。

三野町の一部では、短時間で、徒歩での避難が困難となる30cmの浸水が想定されています。



ため池の決壊による浸水

高瀬町や豊中町などの内陸部では、ため池が決壊し、浸水する可能性があります。

時間差があります。



土砂崩れ

市内全域に土砂災害（特別警戒区域）が分布しています。付近に住んでいる人は、早めの避難が必要です。



災害に備えましょう

！家を安全な場所にする

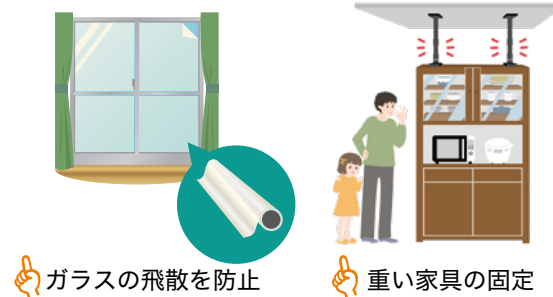
家具の転倒や落下が原因で、下敷きになって逃げ遅れたり、火災を引き起こしたりと、揺れが収まった後も危険がたくさんあります。日頃から強い揺れを意識して、家の中の安全を確保しておきましょう。家具類転倒防止器具の補助金もありますので、ぜひご利用ください。



▲補助金の詳細はこちらから

！家の耐震をする

特に、昭和56年5月以前に建てられ、耐震補強をしていない家は、震度5強程度の揺れまでの耐震性しかないため、倒壊する恐れが非常に高いです。



👉 ガラスの飛散を防止

👉 重い家具の固定

お急ぎください！

住宅の耐震対策を支援しています
市では、昭和56年5月以前に建てられた住宅の耐震診断や耐震改修工事などにかかる費用の一部を補助しています。補助対象や補助金額などの詳細は、広報4月号または市ホームページをご覧ください。まずはお気軽にご相談ください。

▼問い合わせ
建築住宅課 ☎73・3044



▲補助金の詳細はこちらから

備蓄品を用意しましょう

災害が起きても生活できるように、あらかじめ必要な物を自宅に備蓄して、非常時の持ち出し品を袋にまとめておきましょう。下のチェックリストを活用して、今一度ご確認ください。非常時にすぐに持ち出せるように、玄関の近くなどに置いておきましょう。



◆主な備蓄品

1週間分以上を準備しておきましょう

- ☐ 食品 ☐ 飲料水 (1人につき1日3リットル) ☐ 非常食
- ☐ 道具 ☐ カセットコンロ ☐ ガスボンベ ☐ 鍋
- ☐ その他 ☐ 歯磨きシート ☐ ドライシャンプー ☐ 新聞

※これは一例ですので、各家庭ごとに、別途必要な物を準備してください。

◆主な非常時持ち出し品

リュックなどにまとめて、すぐに持ち出せるようにしましょう

- ☐ 必需品 ☐ 現金 ☐ 印鑑 ☐ 通帳のコピー ☐ 健康保険証
- ☐ 食品 ☐ 飲料水 ☐ 缶詰 ☐ 長期保存食
- ☐ 衣類・布物 ☐ 下着・衣類 ☐ 手袋・軍手 ☐ タオル
- ☐ 衛生用品 ☐ ティッシュ ☐ 生理用品 ☐ ごみ袋 ☐ 歯磨きセット ☐ マスク
- ☐ 電化製品 ☐ ラジオ ☐ 携帯電話 ☐ 電池 ☐ 充電器
- ☐ その他 ☐ スリッパ ☐ 眼鏡 ☐ 薬・お薬手帳 ☐ 懐中電灯 ☐ 缶切り・ナイフ ☐ ヘルメット など

自主防災組織に加入しましょう

自主防災組織とは

「自分の命は自分で守る」、「自分たちの地域は自分たちで守る」という考え方の基、自主的に防災活動を行う組織です。

市内では現在、412組織が活動しています。お住まいの地域に自主防災組織があるかどうかを確認したい場合は、危機管理課までお問い合わせください。

自主防災組織の役割

平時時には、防災知識の普及や啓発、防災訓練など、災害に備えた取り組みを実践しています。災害時には、被害を最小限に食い止めるため、地域住民への避難の声掛けや避難所の運営などの応急活動を行います。



▲布と竹で簡易担架が作れます



▲消火器の使い方を学びます



▲がれきの上を歩く感覚を体験し、歩きにくさを学びます

地域の防災訓練に参加しましょう

クイズ 非常用備蓄品を試してみませんか？

正解者の中から、抽選で5人に備蓄品のサンプルをプレゼントします。

クイズ

地域の危険な場所を確認できるマップは何？

○○○○マップ

漢字4文字を入れてください。

応募方法

①住所②氏名③年齢④電話番号⑤クイズの答え⑥今月号の感想(良かった点、気になった点など)を記入し、応募フォームまたは郵便はがきでご応募ください。

送付先

〒767-8585
三豊市高瀬町下勝間 2373 番地 1
三豊市役所 秘書課 広報担当宛

6月20日(木)必着



応募はこちらから▶

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。
※収集した個人情報は、賞品の発送業務に限り、使用します。

自主防災組織の代表者にインタビュー

三野町大見地区では、2007年頃から自主防災組織の取り組みが始まりました。私が参加したきっかけは、阪神淡路大震災時に、災害はいつ起こるか分からず、人ごとではないと感じたからです。

大見地区自主防災会では、設立時に非常持ち出し袋を全戸配布し、公民館活動や地区社協と協働して防災の大切さを訴えるなど啓発活動を続けてきました。また、定期的に防災訓練を行い、備蓄品などを参加者にも見てもらっています。

さらに、2019年には避難所マニュアルを作成し、毎月検証会を開くことで、PDCA※を実践しています。地域の皆さんに「自分の身は自分で守る」対策を考えてもらえるよう、これからも働きかけを続けていきます。

また、子どもたちの防災意識を高めるため、小・中学校とも連携して、災害時に危険となる場所の見学などを行っており、これらを通じて、地域の皆さんとの交流を深めています。最近では、私たちの活動に中高生ボランティアが参加してくれるので、手応えを感じています。

今後も地域の絆を大切にしていって、防災力を高めていけたらと思います。



大見地区自主防災会 竹内 完士さん

※PDCAとは…Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)を繰り返す行い、改善を図る考え方。